

# 新エネルギー導入支援事業（設備導入支援） 設備等導入概要

市町村名 当別町

## 1 補助事業名

当別町木質バイオマス地域アライアンス構築事業

## 2 コンソーシアム名

当別町木質バイオマス地域アライアンス

## 3 事業期間

令和元年7月30日から令和元年10月31日

## 4 事業の目的

当別町において、木質バイオマスの活用に向けた「地域アライアンス」の構築及び川上（集材）から川中（チップ製造）、川下（地域における熱需要）までのトータルバランスの取れたエネルギーの地域循環体制を構築する。

## 5 補助金の交付額

29,825,000円

## 6 事業の概要

- ・チップ導入及びチップ製造拠点整備
- ・チップ製造に向けた原材料調達
- ・チップの運搬体制構築
- ・木質バイオマス利用に係る調査研究、広報、普及啓発
- ・「当別町木質バイオマス地域アライアンス調査研究会」開催

## 7 事業の実施結果及び期待される効果

本補助事業によるチップ機を導入を進め、チップの製造及び販売を開始するとともに、現在使われていない廃校舎（旧中小屋中学校、旧青山小中学校）を活用するべく整備を進め、うち中小屋中学校については、木材の保管を開始した。

これにより、当別町において新たにチップ製造事業を創出し、地域のバイオマス資源を、地域でバイオマス燃料として加工し、地域で利用するという「木質バイオマスによる6次産業化」とも呼ぶべき仕組みが構築できた。

本補助事業の実施に合わせて、チップ原材料となる木質バイオマス資源の確保に向け、町有林から発生する林地残材の収集や、街路樹などの剪定枝の利用、北海道（空知総合振興局札幌建設管理部）や江別市など近隣自治体と連携した防風林等の伐木など、様々なバイオマス資源などの集荷を行った。

これにより、林地残材など林地で発生するバイオマス資源や防風林や街路樹などの整備で生じる伐木など市街地で発生するバイオマス資源などを地域で有効活用する仕組みを構築した。

## 8 今後の展開

令和2年度に町内公共施設（西当別小学校及び西当別中学校）に導入予定の木質チップボイラへのチップ供給に向け、チップ製造拠点の一つである旧中小屋中学校について、体育館をチップ保管場へ回収するなどの整備を実施する。

町内の林地未利用材や間伐材の安定調達に向け、コンソーシアム内での連携体制を構築する。河川支障木など多様な木質バイオマス資源の活用に向け、調査研究事業を実施する。

9 状 況 写 真

